

送辞

きらめくような春の日差しがふりそそぐ、この佳き日に、鹿屋農業高校を卒業される先輩方、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりおよろこび申し上げます。

先輩方にとって、本校で過ごされた三年間はどのような三年間だったでしょうか。笑ったり、泣いたり、感動したり、悩んだり・・・きっと、かけがえのない思い出が頭に浮かんでいるでしょう。先輩方は、多くの場面で私たちの見本となってくださいました。今年度は、年号が平成から令和に変わり、様々な行事が令和初となり、大いに盛り上がりました。これらのすべての行事を成功させることができたのは、先輩方が中心となって私たちにリードしてくださったからだと思います。

体育祭では、各団が一つになり、入場行進から競技、応援まで、それぞれの誇りを胸に精いっぱい取り組みました。午前中心配されていた天気も午後からは晴天となり、一人ひとりの熱い思いが届いたのではないかと思います。

学校祭では、農産物販売や食品バザーに長い行列ができ、今年も大盛況となりました。また、農クフェスタを通して多くのお客さんに鹿屋農業高校の魅力を伝えることができました。翌日のステージ発表では、三年生のクオリティの高さに驚きました。それぞれのクラスの良さを引き出しながら笑顔で舞台を彩る先輩方は、とても輝いて見えました。

課題研究発表では、先輩方が三年間学んできた集大成としての研究を拝見し、先輩方の思いとともに、研究を引き継ぐ覚悟を新たにしました。

この他にも、学校スローガンとして掲げられている「美化日本一 目指せ！ 緑 笑顔 挨拶溢れる高校」を受け継ぎ、早朝から学校内外の美化活動に積極的に取り組み、気持ちの良い挨拶をする姿をとても尊敬していました。これらの取り組みをしっかりと見習い、これからは私たちが鹿屋農業高校をよりよい学校にするために努力していきます。

先輩方の、全力で頑張る姿、全力で楽しむ姿は、私たちは決して忘れません。そして、先輩方が作り上げてくださった。その姿を、私たちは決して忘れません。そして、先輩方が作り上げてきた伝統や「農魂」の精神を受け継ぐとともに、新たなことにも臆することなく挑戦していくように思います。

これから先輩方は高校を離れ、それぞれの夢への一步を踏み出されます。その中で、鹿屋農業高校で培った知識や技術は、きっと力になるはずです。時には苦しいことや、うまくいかないこともあるかもしれません。その時は、この三年間を思い出してください。たくさんの方のサポートを受けてきた先輩方なら、どんなことでも乗り越えられるはずです。自信をもって前に進んでください。

最後になりましたが、先輩方の今後のご活躍とご健康を心よりお祈りして、送辞といたします。

令和二年三月二日

在校生代表 竹内 菜々星

